

アマチュア5部門も熱戦の連続!

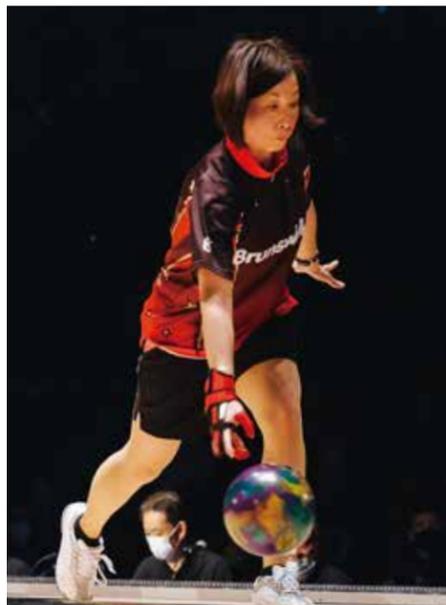
“みんなのボウリング大会”とうたわれているとおり、この大会のもうひとつの特徴がアマチュア部門。一般男女とジュニア&シニア部門、新設のダブルス部門を加えた5部門に延べ1万5000人が参加した全国予選会と前日の準決勝大会(東京ポートボウル、品川プリンスホテルBC)を経て、各部門の上位3名(3組)が決勝大会の特設レーンで熱戦を繰り広げた。とくにジュニア部門(小学生)は、3名ともに両手投げから投げられるプロ顔負けの球威、曲がりのボールで、ボウリングの未来に新しい風を吹かせるようなパフォーマンスを披露してくれた。



◀ジュニアの部は、この大舞台にも「あまり緊張しなかった」と6フレからのフィフスなどで236を打った田中謙臣選手が優勝



◀シニアの部は吉田由美子選手が「ジュニアが素晴らしいボウリングをしていたので負けないように」と思っただけで投げた」と快勝



◀一般女子は、大きな大会に出るのは初めてという荒木房子選手が金星で夢の中にいるみたいでした



▲ベーカー方式の1Gマッチで行われたダブルス部門は山田拓人、堀田恵子選手のペアが息の合ったプレーで優勝



◀一般男子の部は「この大会の優勝だけは譲れない」と桑田さんへの愛あふれる斎藤祐太選手が4年越しの連覇

アマ部門入賞者

●ダブルス部門

順位	氏名	(都道府県)	決勝スコア
1	山田 拓人 堀田 恵子	(三重)	209
2	熊木 大地 関本 梨沙	(埼玉)	208
3	升水 祐介 田代晃嗣郎	(福岡)	197

●一般男子部門

順位	氏名	(都道府県)	決勝スコア
1	斎藤 祐太	(神奈川)	213
2	日野 智仁	(北海道)	159
3	成田雄一郎	(青森)	157

●シニア部門

順位	氏名	(都道府県)	決勝スコア
1	吉田由美子	(埼玉)	234
2	寺田 浩明	(千葉)	194
3	衣川みどり	(静岡)	190

●一般女子部門

順位	氏名	(都道府県)	決勝スコア
1	荒木 房子	(神奈川)	193
2	北嶋 佳代	(北海道)	192
3	川崎 都子	(神奈川)	178

●ジュニア部門

順位	氏名	(都道府県)	決勝スコア
1	田中 謙臣	(栃木)	236
2	中川 結雅	(埼玉)	191
3	石川蓮太	(栃木)	158

※シニア部門は女子に1G20ピン、ダブルス部門は同10ピンのH/Cあり

KUWATA CUP2022→2023 EXTRA

エキシビジョンマッチも大盛り上がり!

ボウリングをこよなく愛する音楽界のスーパーstar・桑田佳祐氏の発案で実現した「KUWATA CUP2022→2023」。決勝大会当日は桑田さん67歳の誕生日とあって、桑田ファンも大挙来場。当然ながら、桑田さんが日本テレビの情報バラエティ番組「スッキリ!」の出演陣(加藤浩次、槇野智章、辻岡義堂アナ)と連合軍を組んで姫路麗、名和秋の女子プロチームに挑んだエキシビジョンマッチも大盛り上がりだった。



①プロレスファンでもある桑田氏は「闘魂タオル」を首にかけた4人のマスクマンを従えてエキシビジョンマッチに登場②対戦前の桑田&スッキリ!連合軍と女子プロチーム。交渉の結果、連合軍は各フレームで日本ボウリング公式キャラクター「ピンすけ」を模したカラーピンを倒せば10点のボーナスポイントがもらえることになったが...③見事④ピンをカバーした辻岡アナをグータッチで迎える桑田氏④表彰式終了後、プロアマ各部門の入賞者が桑田氏を囲んで記念撮影